

第102回シンポジウム

「こんなことまでできるの！ アルミの表面処理で!!」
 ～新機能を発現するアルミニウム合金表面処理の最新情報～
 “How amazing the surface treatments on Aluminum are!!”
 —Update of new functional treatment technologies
 on aluminum alloy surface—

磯部 保明*

Yasuaki ISOBE*

1. まえがき

2017年2月17日(金)、軽金属学会第102回シンポジウム「こんなことまでできるの！ アルミの表面処理で!!」～新機能を発現するアルミニウム合金表面処理の最新情報～が工学院大学 新宿キャンパスで開催され、39名が参加・聴講した。

自動車部品に適用される表面処理を中心に、各専門分野の研究者、技術者の方から現状と将来への展望について講演いただいた。今回はすべて企業の方が講師であったので、現実の市販車への適用事例など、極めて説得力のある具体的な内容が聴講者の興味を引いた。

2. プログラム

本シンポジウムの講演プログラムを以下に示す。

1. 自動車エンジンへの溶射技術の適用
日産自動車株式会社 松山 秀信氏
2. 排水クローズド小型高速アルマイトシステム
株式会社デンソー 菅原 博好氏
3. アルミニウム材の交流陽極酸化皮膜とその応用
株式会社UACJ 三村 達矢氏
4. 多様化するニーズから学ぶアルマイトの可能性
株式会社ミヤキ 大石 哲也氏
5. 多孔質皮膜の形成方法および接合強度への影響
奥野製薬工業株式会社 堀川 誠氏
6. 壁温スイング遮熱法によるエンジンの熱損失低減
トヨタ自動車株式会社 西川 尚樹氏
7. プラズマ電解酸化処理によるセラミックコーティング技術
日本パーカライジング株式会社 池田 芳宏氏

3. シンポジウムを振り返って

参加者は講演終了後直ちに隣の会議室に準備されていた技術交流会会場になだれ込んだ。本交流会は、今回新たな試みでビュッフェディスカッションと称して、軽食をつまみ、缶ビールで喉をうるおしながら、より打ち解けた雰囲気の中、



図1 講演会の風景



図2 ビュッフェディスカッションの様子

気軽に質疑応答や名刺交換できる場を提供し、参加者に「参加してよかった」と思って帰ってもらうことを狙ったものであった。狙ったとおりの効果は得られたもようで、参加者の終了後アンケートには「たいへん有意義だった」とのコメントを多数いただいた。

参加者の満足を得られる仕掛けは何かをこれからも考え、実行していきたいと思う。

世話人	工学院大学	阿相 英孝
	ヤマハモーターエレクトロニクス株式会社	橘内 透
	三協立山株式会社	山田 公一
	株式会社デンソー	磯部 保明